

事業番号	10 02 03	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	森林資源の多面的利用推進事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課
			実施期間	S48 ～	E-mail	ringyo @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

・本県は、古くから里山を中心に、きのこを始めとした森林利用が行われてきたが、近年は社会情勢等の変化や森林所有者の関心の低下等により、森林との関りが低減している。

・本県の魅力である、里山の有効活用のため、地域の里山への関心向上を図る必要がある。

2 事業目的

・森林を活用した交流人口の増加や地域の活性化を図るため、里山を中心とした、地域や企業等による森林整備、森林資源の多面的な利用を促進する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①開かれた里山の整備及び利用の推進
- ・県民が広く親しめる「開かれた里山」の仕組みづくり及び整備・利用に向けた森林所有者の同意取得
 - ・里山の自立的な整備・利活用に向けたチェーンソー、薪割機、簡易ウインチ等の資機材の支援
 - ・「開かれた里山」の管理・整備マニュアルの作成
- ②森林サービス産業の推進
- ・安心・安全なフィールド活動のための、市町村・団体等が行う森林整備、チップ歩道やベンチ等の環境整備への支援
 - ・地域の里山や学校林等の活用による森林環境教育への支援
 - ・森林セラピー基地等を多面的に利用・案内ができるガイド・コーディネーター等の人材の育成
- ③原木栽培きのこ等の安定供給の推進
- ・東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響により、経営が逼迫している原木しいたけ等生産者の生産資材導入を支援
 - ・特用林産物の生産に必要な生産諸資材の購入に要する資金の融資

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし ー:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	「開かれた里山の整備・利用計画」の承認地域数	地域	—	—	—	16	—	10	達成	森林づくり県民税基本方針において「県民が広く親しめる里山整備利用地域の数」概ね50箇所を5年間の目標としているため、初年度は10地域の計画承認を目指す。	
②	森林サービス産業総合対策事業の実施数	プロジェクト	—	—	—	10	—	10	達成	森林づくり県民税基本方針において「森林サービス産業などの支援」概ね50プロジェクトを5年間の目標としているため、初年度は10地域の実施を目指す。	
③	きのこ等の特用林産物の生産額向上を目指す	百万円	6,290	5,809	↘	6,168 (速報値)	↗	5,823	達成	直近3年間の実績を基に生産額が下回らないよう目標を設定し、きのこ等の特用林産物の生産額向上を目指す	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標		
				年度	数値	年度	数値	年度	数値	年度	数値	
1-1②	人と自然が共生する社会の実現	該当なし										
3-1①	地域の特徴と自然の恵みを生かした快適で魅力ある空間づくりの推進	県民が広く親しめる里山の数（累計）	か所	2021 (R3)	—	2022 (R4)	—	2023 (R5)	16	2027 (R9)	50	
3-1①	地域の特徴と自然の恵みを生かした快適で魅力ある空間づくりの推進	森林サービス産業に取り組む地域プロジェクト数（累計）	プロジェクト	2021 (R3)	—	2022 (R4)	—	2023 (R5)	10	2027 (R9)	50	

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	15,000	57,201	12,883	85,084	1,852	62,438	17.3
R4年度	0	53,012	1,600	54,612	1,856	36,017	17.3
R3年度	0	78,021	△ 14,682	63,339	1,855	49,450	17.3

事業番号	10 02 03	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	森林資源の多面的利用推進事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課

7 主な取組実績と成果

①開かれた里山の整備及び利用の推進

「長野県ふるさとの森林づくり条例」に基づく里山整備利用地域のうち、より多くの県民や県外から長野県を訪れる方が里山に広く親しむことができるよう、レクリエーションや健康づくり、観光拠点などに活用される「開かれた里山」の整備及び利用に取り組む地域を支援した。

②森林サービス産業の推進

- ・森林セラピー基地等7箇所への環境整備を支援した。
- ・森林環境教育を推進するため、フィールド整備や教育活動を支援（19校）した。
- ・森林の癒し効果のガイド人材や森林を活用した地域活性化のコーディネーターの育成研修を計6回開催し、森林を核にした地域の魅力発信を行える人材の育成を行ったことにより、意欲的に森林サービス産業に取り組もうとする地域（10地域）を掘り起こすことができた。

③原木栽培きのご等の安定供給の推進

- ・東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による影響が継続しているため、原木しいたけ等生産者（5生産者）の生産資材導入を支援することで、安定供給と生産振興を図り地域の活性化を推進した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	「開かれた里山の整備・利用計画」の承認地域数	R4年度推移	—	R5年度推移	—	達成状況	達成
令和5年度から新たに開始した制度であったものの、様々な機会を通じて制度の周知や取組の支援等に努めた結果、目標を上回る16地域において「開かれた里山の整備・利用計画」が承認され、「開かれた里山」の整備及び利用に向けた取組が開始された。							
指標②	森林サービス産業総合対策事業の実施数	R4年度推移	—	R5年度推移	—	達成状況	達成
森林空間・施設整備に係る補助などの活動支援や森林を核にした地域の魅力発信を行える人材の育成により、意欲的に森林サービス産業に取り組もうとする地域を掘り起こすことができた。							
指標③	きのご等の特用林産物の生産額向上を目指す	R4年度推移	↘	R5年度推移	↗	達成状況	達成
一部の品目において東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響が続いているものの、生産者に対する支援策の効果等により目標を達成できる見込みとなった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

①開かれた里山の整備及び利用の推進

- ・令和5年度から取組を開始した16地域や今後取組を開始する地域において、住民等が主体となり多くの県民等が安心して気軽に利用できる「開かれた里山」として整備するための取組を引き続き継続することが必要
- ・県内の「開かれた里山」に関する情報を広く周知し、多くの県民等の利用につなげることが必要

②森林サービス産業の推進

- ・森林サービス産業に携わる者の裾野を拡大するためには、事業者、利用者等、多様な主体が交流し、情報交換を行える場が必要
- ・新たに森林サービス産業を創出する際に、起業や森林の利活用に関するノウハウが不足。起業に係る費用負担が大きい

③原木栽培きのご等の安定供給の推進

- ・東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故などにより生産資材の価格高騰の影響が継続している

(2) 事業改善の方策

①開かれた里山の整備及び利用の推進

- ・「開かれた里山」の整備等に取り組む地域に対して、引き続き計画作成・広報活動や資機材導入等の支援を継続する
- ・県内の「開かれた里山」に関する情報を収集しHP等において発信することで、多くの県民等の「開かれた里山」の利用につなげる

②森林サービス産業の推進

- ・事業者や起業に関心のある者等、多様な主体が交流し、情報交換を行える場を作り、森林利活用に携わる者の裾野の拡大を図る
- ・起業に関するセミナーの開催、専門家派遣による助言、起業時の費用の補助等、新たな森林サービス産業の創出を支援する

③原木栽培きのご等の安定供給の推進

- ・森林資源の有効活用による特用林産物の生産振興のため、引続き積極的な取組が必要

事業名	森林資源の多面的利用推進事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
-----	----------------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	開かれた里山の整備・利用推進事業	17,387 千円	7,306 千円	19,386 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	開かれた里山の整備・利用推進事業	委託 補助金	・「開かれた里山」の仕組みづくりに対する補助 ・里山の自立的な整備・利活用に向けた条件整備に対する補助 ・「開かれた里山」の取組事例集、安全管理マニュアルの作成 補助額 17,417千円 補助対象地域数 24地域	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	森林サービス産業総合対策事業	23,958 千円	22,807 千円	20,505 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	森林サービス産業活動支援事業	委託、補助金	・安心安全なフィールド活動のために市町村等が行う環境整備に対する補助 ・地域の里山や学校林等の活用による森林環境教育に対する支援 ・森林の里親契約等の企業説明、企業と地域を結ぶ活動の支援 環境整備：7地域、森林サービス産業に取り組む地域プロジェクト数：10地域	
2	森林サービス産業人材育成事業	委託	・森林セラピー基地等を多面的に利用・案内ができるガイドの育成 ・森林を核とした地域活性化を進めるコーディネーター育成講座の開催 ・里山の利活用をすすめる人材の育成や技術指導研修の開催 ガイド・地域コーディネーター育成研修：6回、技術研修：31回	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	特用林産産地振興総合対策事業	8,105 千円	5,904 千円	22,547 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	特用林産振興資金貸付金	貸付金	特用林産物の生産施設の導入及び生産に必要な諸資材の購入に必要な資金の融資 貸付件数：1件、貸付額：1,000千円	
2	なめこ生産安定資金造成事業	補助金	なめこの市場価格が低迷した場合に、（一財）長野県野菜生産安定基金協会が生産者に補助金を交付するための資金造成に対して補助 加入団体：7団体、補助額：2,145千円	
3	原木栽培きのこ等安定供給推進事業	直接 補助金	・「長野県野性きのこ類及び山菜等における放射性物質の検査方針」に基づき、放射性物質検査及び検討会議の実施 ・きのこの生産力を増強するための生産資材導入支援 放射性物質検査補助等：1,505千円	
4	きのこ類生産資材高騰対策事業	補助金	・原油、原材料価格の高騰に直面するきのこ生産者の経営における負担軽減を図るため、生産資材購入に要する費用を助成 生産資材購入支援補助：12,991千円	
5	特用林産産地振興総合対策事業	償還金	・補助事業者の事業廃止による財産処分に伴い、廃止時期の残存簿価に対する国庫補助金を返還 国庫補助金の償還：4,907千円	